

第4回 これからの五条川小学校を一緒に考えませんか？ (K GK) を終えて 【みんなの振り返り】

今回も、大成功に終わりました。保護者や地域の方の参加のみならず、6年生の児童も参加して、本校が取り組んでいる『対話指導』をテーマに、K GKの前に行った授業をもとに、大学の教授の先生も含め、五条川小学校の『対話指導』の授業をどのように見取っていくといいのか？というお話とこれらの話を受けて、子どもたちの学びを地域や保護者の方々はどう支えていくといいのか？という話がされました。1グループ4～6人程度で話し合いがもたれ、とても和やかな雰囲気の中、会が進み、終わりました。みなさんの感想を集めましたので、読んでいただくと、様々な立場でこれからの五条川小学校を支える側として、見えてくるものがあると思いますので、紹介させていただきます。



- 今日はありがとうございました。なんだかんだで、初めての K GK でした。多くの方が真剣に話し合う姿は、大人も子どもも関係なく、これからの世の中には、必要なことだと思いました。地域の方の話を聞きながら、自分にできること、学校としてできることを考え、行動していきたいと思いました。今後も地域との連携をより深めていきたいと思いました。
- 地域でできることをみなさんとディスカッションしました。様々な視点の話が聞けて、意見が皆さんで止まらなくなりました。
- このご時世、地域の子供達に声掛けをして名顔一致できる関係になるのは難しいですが、それが出来たら子どもたちが疑問に思った事を気軽に質問できる大人が増えると思います。
- 職業体験は町たんけんより小学生にはハードルは高いと思いますが、多業種の方に来校して頂き、どんな仕事をしているか話して質問して…。が、できるのもリアルな話が直接聞けて対話指導ができそうです。
- 田畑の利用や地域行事の活性化の為に親子で参加など…。対話指導は出来る事が色々有りそうです。
- 保護者も含めもっとわたしたちにできる対話指導を理解して『参加』をしていきたいです。
- 多様な人たちがつながり合いながら、新しい価値を見つけようとする機会に立ち会うことができ、とても貴重な経験をさせていただきました。
- 地域の人と話し合う場を設けることはとても良いことだと思います。学校に力を貸したいと思ってみえる方が多いことを実感します。こういう機会を手をせず、線や面に広げていくことが大切だと思いました。
- 子供から問いが生まれるように気づけるよう頑張っていきたい。子どもたちが安心して疑問やわからないことを言える環境づくりは大切。自分が誰かの役に立っている、自分の学びがなにかとつながっていると気づける環境や場づくりが大切。



また、児童2名からは、こんな感想をいただきました☆

- 私はこれまでK GKで話し合った内容を全く知りません。今回初めて参加して対話する中で、『発見』や『こうしたら解決できるのでは？』という意見が出て、改めて対話の重要性を知ることができました。楽しかったです。これを集めたメンバーだけでなく、クラスや学校みんなに広めていけるといいと思います。なので、先生たちもこれまでのことを教えて欲しいです。
- 私は今回のK GKを通して、『学びを深めるために何が必要か？』を考えて行動すべきだと思います。また、日常で「あれってなんだろう？」などと疑問に思ったことは小さなことでも探求することが大切だと思います。後期のK GKにもぜひ参加したいと思います。とても楽しかったです。



今回は、『対話指導』を中心にこれからの五条川小学校について一緒に考えることが出来ました。まだ日程は決まっていますが、今後も五条川小学校をよりよく学ぶ場として、児童・教員・保護者・地域が一体となり、みんなで成長できる場を作っていきたいと考えています。現在行っていることとして、児童達が自ら学びを計画・実践・振り返りをする、『自己調整タイム』という活動を行っています。この時間は、いつでも子どもたちの見守りが出来ますので、ぜひ、ご来校ください。詳細につきましては、別紙『自己調整タイムにお子さまの様子を見てくださいませんか？』というものがありますので、こちらをご確認の上、ご来校ください。今回、参加された保護者の皆様、地域の皆様、6年生のステキな児童たち。ありがとうございました。

